

「新県立博物館の整備について」に関するアンケート調査の結果について

三重県生活・文化部 新博物館整備推進室

「新県立博物館の整備に関するアンケート調査」の実施結果につきまして、下記のとおり報告いたします。

アンケートの結果については、2014（平成26）年の開館をめざして進めております新県立博物館の整備において、活用させていただきます。

ご回答いただきましたモニターの皆さまに改めてお礼申し上げます。

1 アンケート実施期間

平成22年2月4日（木）～平成22年2月22日（月）

2 意見募集の結果

対象者 1,502名 回答数 994名 回答率 66%

（回答者属性）

性別 【男性】539人 54% 【女性】455人 46%

年代別

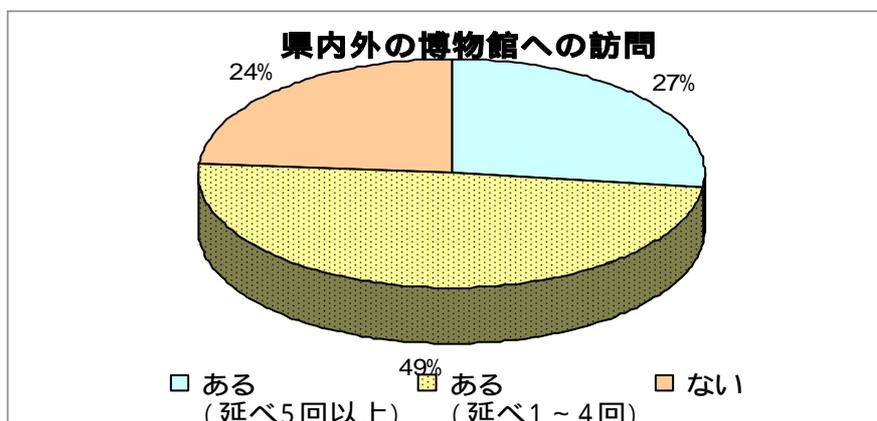
20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
84	208	267	234	143	58
8%	21%	27%	23%	14%	6%

3 アンケートの結果

設問1 県内外への博物館への訪問

延べ5回以上あると回答された方が27%、延べ1～4回あると回答された方が49%と、博物館に行ったことのある方は、合わせて76%となっています。一方で、一度も行ったことがないと答えた方は24%で、全体の8割程度の方は、博物館を利用されたことがあることがわかりました。

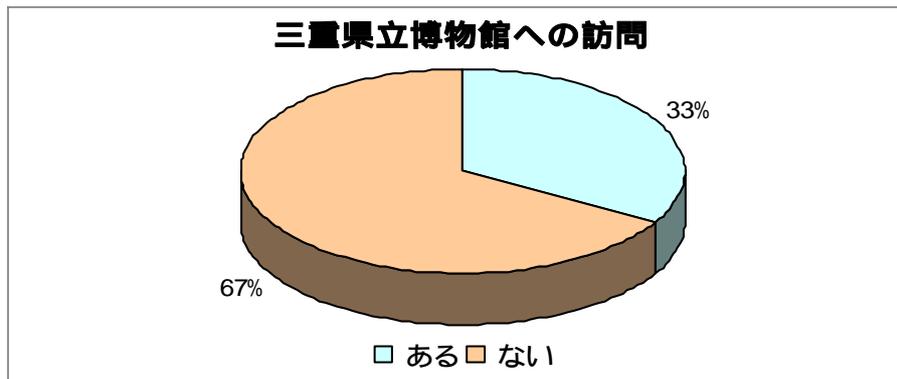
ある（延べ5回以上）	ある（延べ1～4回）	ない	計
268件	492件	234件	994件
27.0%	49.5%	23.5%	100.0%



設問2 三重県立博物館への訪問

利用したことがある方が 33%、これまでに県立博物館を利用したことない方が 67%となり、現在の県立博物館を利用した方は、少ないことがわかりました。

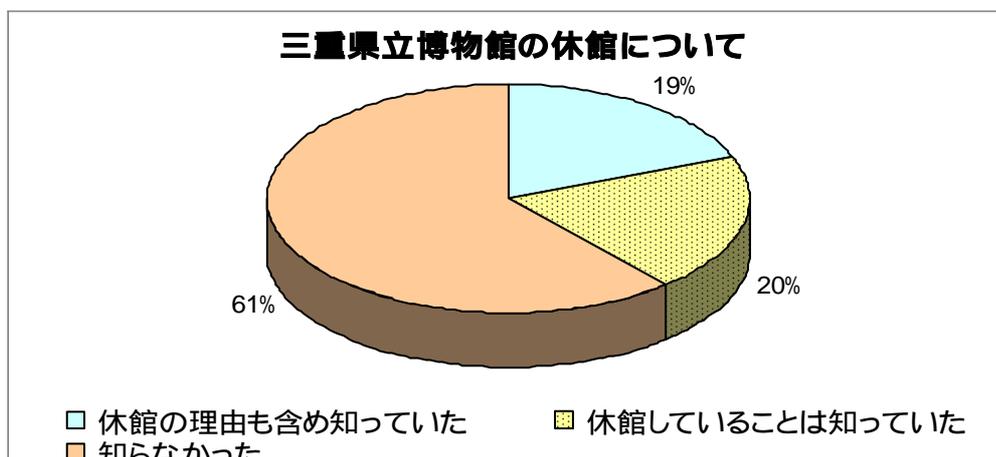
ある	ない	計
332件	662件	994件
33.4%	66.6%	100.0%



設問3 三重県立博物館の休館について

現在の県立博物館は、建物の老朽化と耐震性の問題から平成 19 年 10 月から休館していますが、このことを知らなかったという方は 61%と半数を超える一方、休館の理由も含めて知っていた方は 19%、休館していることは知っていた方は 20%と、休館について知っていた方はあわせても 4 割程度に留まっています。

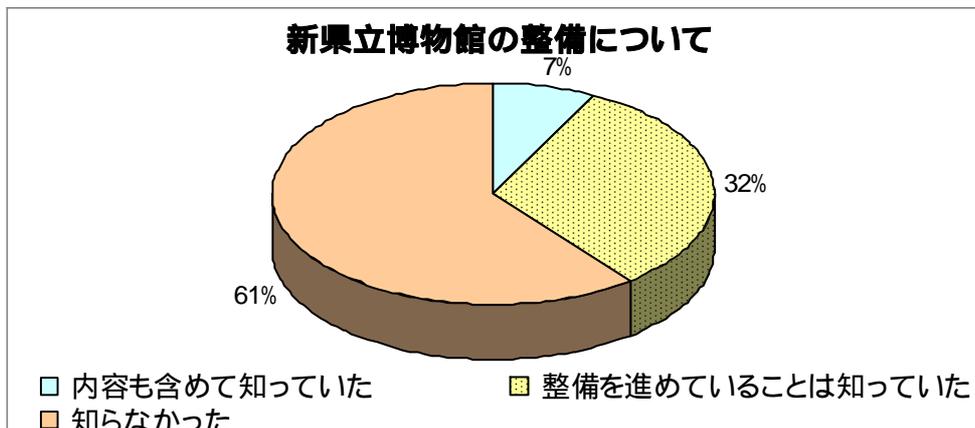
休館の理由も含め知っていた	休館していることは知っていた	知らなかった	計
188件	196件	610件	994件
18.9%	19.7%	61.4%	100.0%



設問4 新県立博物館の整備について

内容も含めて知っていたと回答された方は7%、進めていることは知っていたと回答された方は32%と整備を知っていた方は、あわせて4割程度でした。一方、知らなかったと回答された方は60%とまだ新博物館の整備を知らない方が、半数を超えていることがわかりました。

内容を含め知っていた	整備を進めることは知っていた	知らなかった	計
74件	319件	601件	994件
7.4%	32.1%	60.5%	100.0%

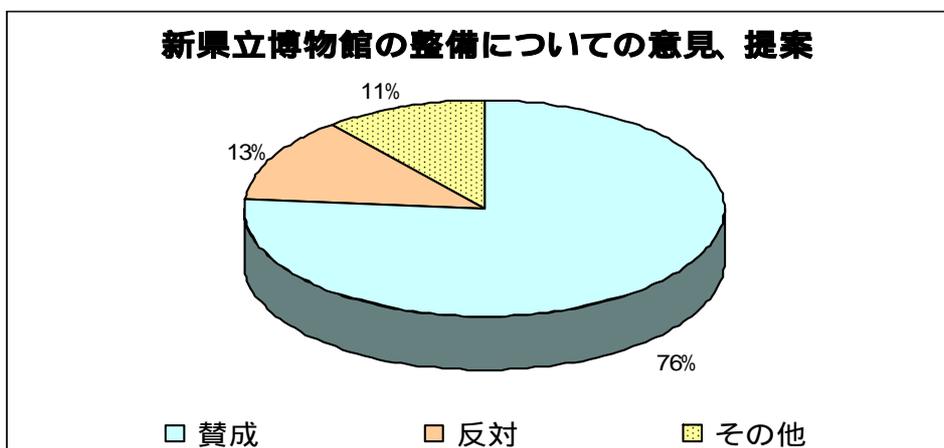


設問5 新県立博物館の整備についての意見、提案

この設問は、新博物館の整備の進め方や、具体的な内容について、記述式でご意見やご提案をいただいたものです。994名の回答者から意見、提案の記入があったのは680件、未記入は314件でした。

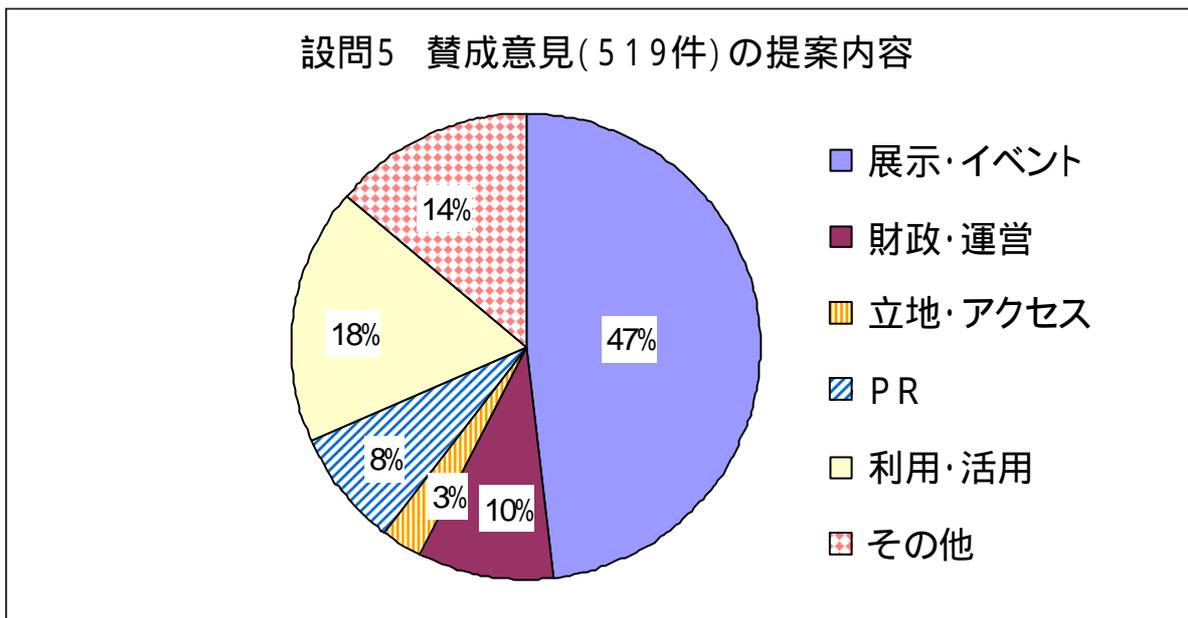
記入内容については、整備することに対して、賛成が519件(76%)、反対が85件(13%)、その他が76件(11%)となっています。

賛成	反対	その他	計
519件	85件	76件	680件
76.3%	12.5%	11.2%	100.0%



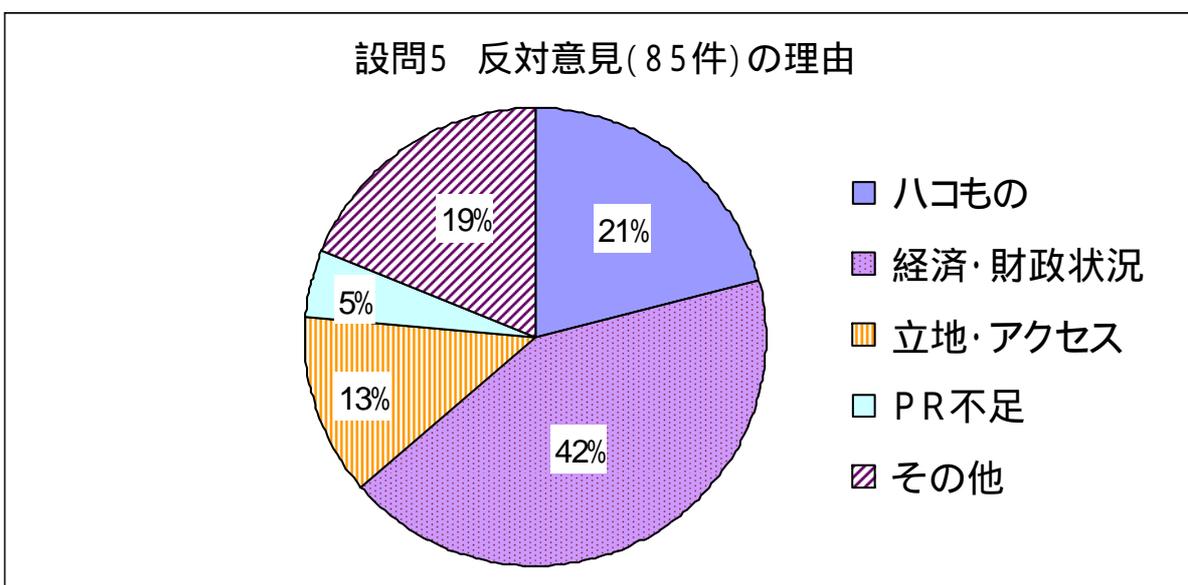
【賛成意見の提案内容】

賛成意見の提案内容については、展示・イベントに対するものが、一番多く、5割近くを占め、続いて、利用・活用に対する意見が2割程度でした。また、整備費や維持管理など財政・運営に対する意見や、立地・アクセスへの意見はそれぞれ1割程度となっています。



【反対意見の理由】

反対意見の理由については、経済・財政状況に対するものが、一番多く、4割超となっており、続いて、いわゆるハコもの建設に対するものが2割程度でした。また、立地・アクセスに対する意見は1割強、新博物館整備の認知不足などPR不足が5%となっています。



【主な意見等】

《賛成の意見》

- ・ 将来を担う子供達が興味を持てるよう、参加型の展示・学習プログラムを行っていただきたい。
- ・ 子供から大人まで楽しめる施設（様々な人に興味を持ってもらえる）であって欲しいし、バリアフリー等で車椅子の方等が簡単に移動可能として欲しい。
- ・ 早く進めるべきである。資料を展示するだけでなく、誰もが参加できる皆に開かれた博物館をつかってほしい。
- ・ 県内の小中学生の遠足や課外授業で必ず一度は訪れる仕組みを作ってみてはどうでしょうか。
- ・ 博物館を利用するのは、基本的に近場に住んでいる人たちだと思うので、地方の施設と連携して、移動展示を行ってもらえると、遠方に住んでいても、博物館を体験できてありがたいです。
- ・ 鉄道の駅より遠いので、アクセスの問題を検討する必要がある。
- ・ 位置的には文化センターの隣であり、申し分ない所だと思います。近隣の施設と共同して集客を図るようすべきで、たえずイベントを企画し、いつでもたやすく観ることが出来る施設として欲しい。
- ・ TVやメディアを通しての告知、広報がまだまだ足りないと思います。
- ・ 運営維持管理に於いては、有識者、一般者のボランティア活動を活用する。

《反対の意見》

- ・ 文化としての博物館は必要とは思いますが、これほど景気が落ち込んでいる時期にいかがなものか？今あえてハコモノを作ることが必要なのか。その関係に従事する県職員も別の活用ができるのではないか。今すぐしなければならぬ事と将来に向かってしなければならぬ事を分類するのではなく、優先順位を付けることが必要ではないのか。
- ・ 特に必要はない。他県にあるもので十分。
- ・ 文化施設が津市に集中している。北勢地区に建設してほしい。

《その他の意見》

- ・ 申し訳ありませんが全く博物館に興味を感じられないので意見はありません。
- ・ 四日市にもありますが、箱物だけに終わらないように期待しております。しっかりとした内容と予算について、より多く開示PRが必要。まだまだ、具体的に何を目標しているのか、何を実際に導入していく計画さえ見えていません。箱物以外、よく理解しておりません。
- ・ 私も勉強不足で、意見を言えることはできません、県の広報誌も配布されても、目を通すことは余りありません。もっと広く広報活動されては如何でしょうか！